

文化芸術の振興に関するアンケート調査の結果について (概要版)

令和2年2月

千葉県環境生活部 県民生活・文化課

電話 043-223-2408

FAX 043-221-5858

1 調査の目的

文化芸術に関する県民及び文化芸術関連団体の関心、意向などをとらえ、「千葉県文化芸術の振興に関する条例」第7条に基づく文化芸術推進基本計画策定のための基礎資料とすることを目的とする。

2 調査の設計

(1) 県民向け

ア 調査対象 千葉県在住の満18歳以上の男女個人

イ 標本数 3,000人

ウ 抽出方法 層化二段無作為抽出法

※層化二段無作為抽出法とは、行政単位と地域によって県内をブロックに分類し(層化)、各層に調査地点を人口に応じて比例配分し、国勢調査における調査区域及び住民基本台帳を利用して(二段)、各地点ごとに一定数のサンプル抽出を行うものである。

エ 調査方法 郵送法、オンライン調査法の併用
(調査票を郵送送付し、回答を郵送・オンラインで回収する)

(2) 関連団体向け

ア 調査対象 千葉県内の文化芸術関連の団体

イ 標本数 60団体

ウ 抽出方法 千葉県芸術文化団体協議会加盟団体及び県域で活動する文化芸術団体

エ 調査方法 郵送法(調査票を郵送送付し、回答を郵送で回収する)

(3) 調査時期 令和元年9月10日～10月15日

※台風15号の影響を考慮し、投函締切日を当初の9月30日から10月15日に変更した。

3 回収結果

(1) 県民向け 有効回収数(率) 1,052名(35.1%)

(2) 関連団体向け 有効回収数(率) 41団体(68.3%)

4 調査の項目

(1) 県民向け ①鑑賞(体験)について ②自分自身の参加・出演について ③各地域における伝統芸能について ④障害のある方の文化芸術活動について ⑤文化施設について ⑥県が実施する事業等について	(2) 関連団体向け ①会員(加入者)の状況について ②活動状況について ③障害のある方への配慮について ④PR活動について ⑤団体が今後担っていきたい役割について ⑥県が実施する事業等について
---	---

5-1 調査の結果（県民向け）

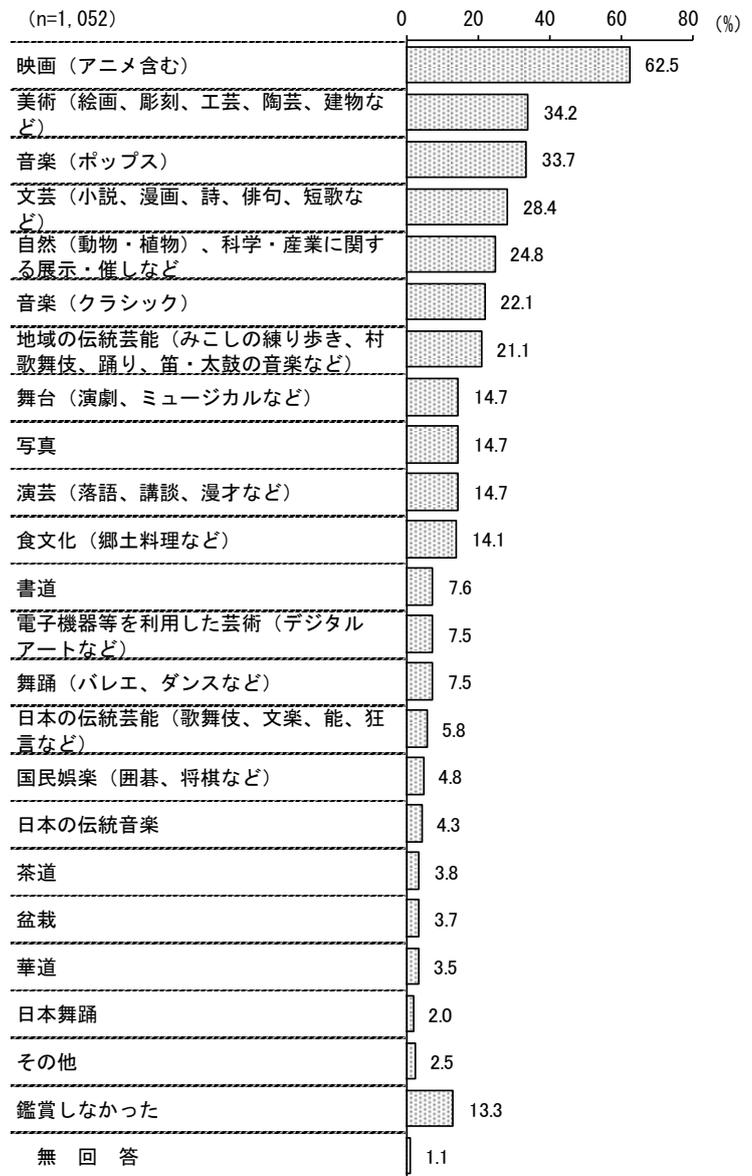
1 鑑賞（体験）について

（1）昨年度に鑑賞（体験）した文化芸術

（複数回答：いくつでも）

昨年度に鑑賞（体験）した文化芸術を聞いたところ、「映画（アニメ含む）」（62.5%）が約6割で最も多い。以下、「美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸、建物など）」（34.2%）、「音楽（ポップス）」（33.7%）、「文芸（小説、漫画、詩、俳句、短歌など）」（28.4%）が続く。

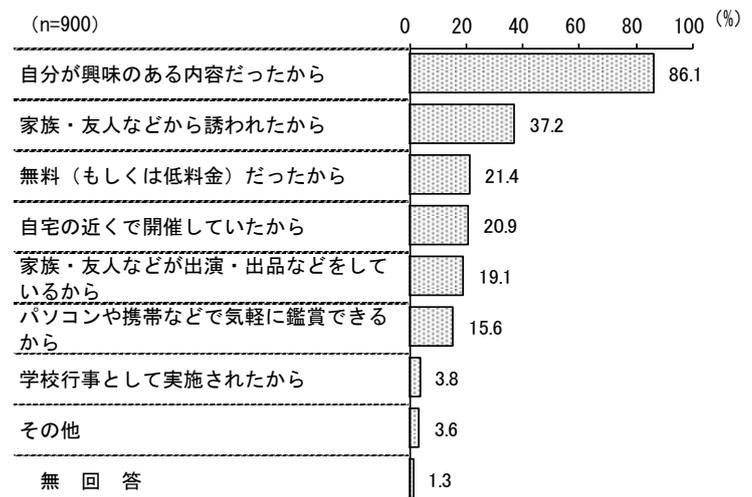
一方で、「鑑賞しなかった」（13.3%）が1割を超えている。



（2）文化芸術を鑑賞（体験）した理由

（複数回答：いくつでも）

「昨年度に鑑賞（体験）した方」900人を対象に、鑑賞（体験）した理由を聞いたところ、「自分が興味のある内容だったから」（86.1%）が8割台半ばで最も多い。以下、「家族・友人などから誘われたから」（37.2%）、「無料（もしくは低料金）だったから」（21.4%）、「自宅の近くで開催していたから」（20.9%）、「家族・友人などが出演・出品などをしてから」（19.1%）、「パソコンや携帯などで気軽に鑑賞できるから」（15.6%）が続く。

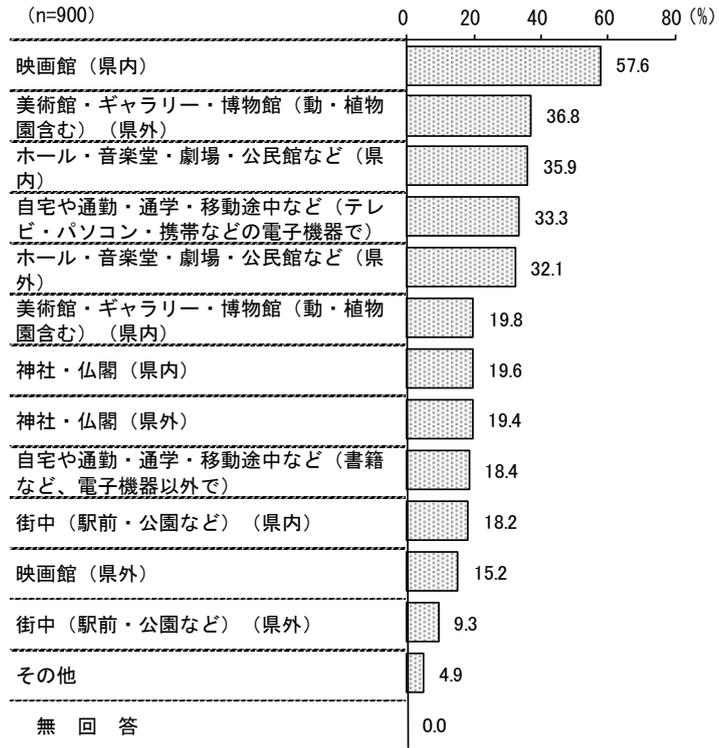


(3) 文化芸術を鑑賞（体験）した場所

(複数回答：いくつでも)

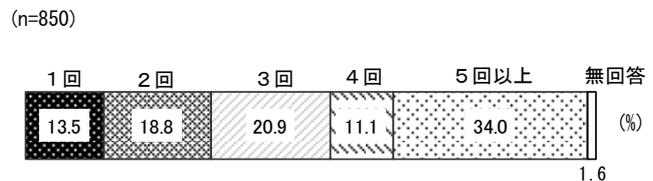
「昨年度に鑑賞（体験）した方」900人を対象に、鑑賞（体験）した場所を聞いたところ、「映画館（県内）」（57.6%）が約6割で最も多い。以下、「美術館・ギャラリー・博物館（動・植物園含む）（県外）」（36.8%）、「ホール・音楽堂・劇場・公民館など（県内）」（35.9%）、「自宅や通勤・通学・移動途中など（テレビ・パソコン・携帯などの電子機器で）」（33.3%）、「ホール・音楽堂・劇場・公民館など（県外）」（32.1%）が続く。

また、「映画館」は『県内』が『県外』に比べ約42ポイント高く、「美術館・ギャラリー・博物館（動・植物園含む）」は『県内』が『県外』に比べ約17ポイント低い。



(4) 施設などの利用回数

「昨年度に施設などで鑑賞（体験）した方」850人を対象に、利用回数を聞いたところ、「5回以上」（34.0%）が3割台半ばで最も多い。以下、「3回」（20.9%）。「2回」（18.8%）が続く。



(5) 施設などの利用者の満足度

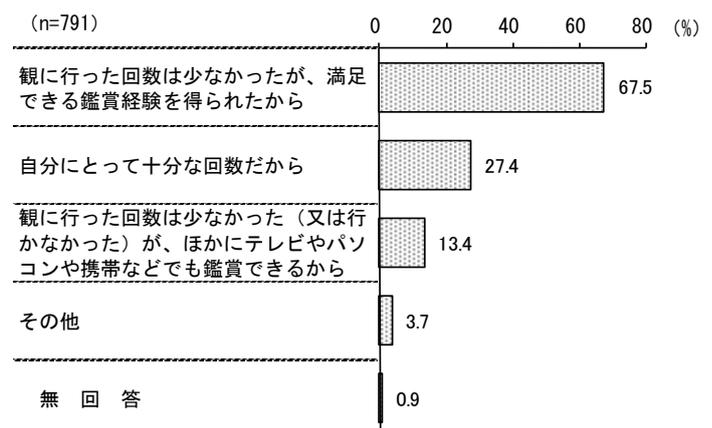
「昨年度に施設などで鑑賞（体験）した方」850人を対象に、満足できたかを聞いたところ、「満足できた」（93.1%）が9割を超えている。



(6) 施設などの利用者の「満足できた」理由

(複数回答：いくつでも)

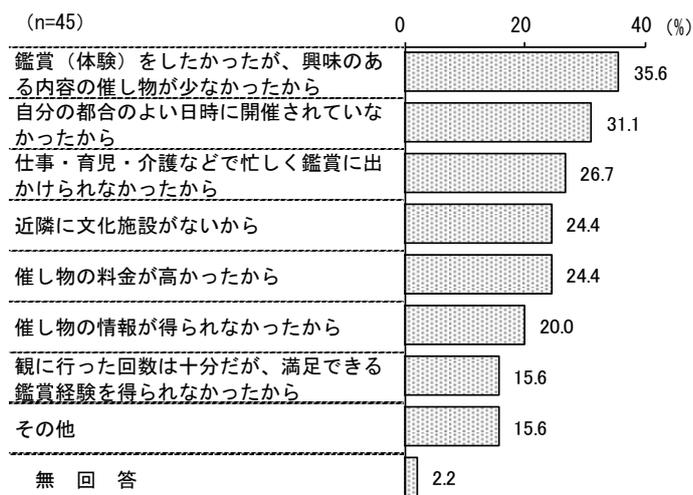
『満足できた』とした方791人を対象に、その理由を聞いたところ、「観に行った回数は少なかったが、満足できる鑑賞経験を得られたから」（67.5%）が約7割で最も多い。以下、「自分にとって十分な回数だから」（27.4%）が続く。



(7) 施設などの利用者の「満足できなかった」理由

(複数回答：いくつでも)

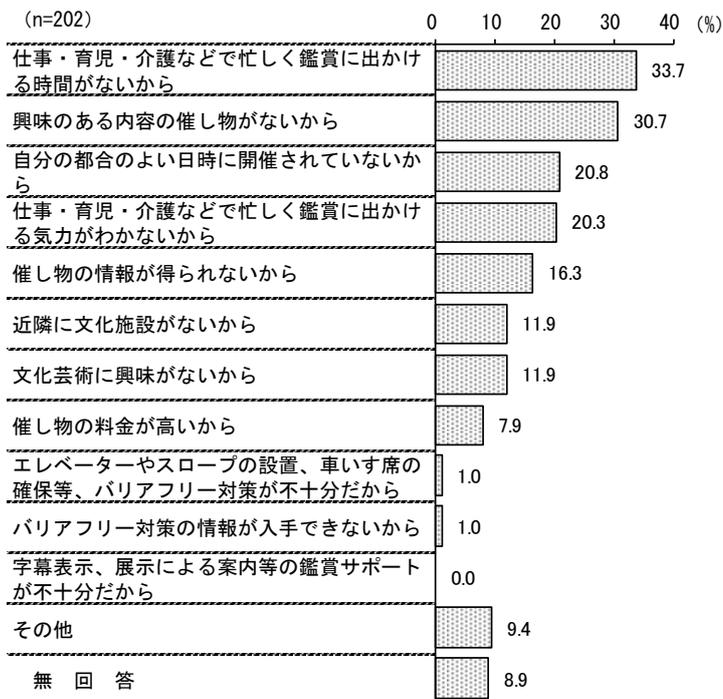
「『満足できなかった』とした方」45人を対象に、十分な鑑賞（体験）ができなかった理由を聞いたところ、「鑑賞（体験）をしたかったが、興味のある内容の催し物が少なかったから」（35.6%）が3割台半ばで最も多い。以下、「自分の都合のよい日時に開催されていなかったから」（31.1%）、「仕事・育児・介護などで忙しく鑑賞に出かけられなかったから」（26.7%）、「近隣に文化施設がないから」（24.4%）、「催し物の料金が高かったから」（24.4%）が続く。



(8) 施設などで文化芸術を鑑賞（体験）しなかった理由

(複数回答：3つまで)

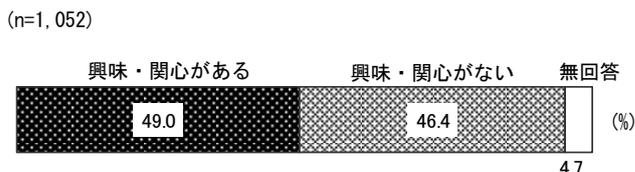
「昨年度に施設などで鑑賞（体験）しなかった方」202人を対象に、その理由を聞いたところ、「仕事・育児・介護などで忙しく鑑賞に出かける時間がないから」（33.7%）が3割台半ばと最も多い。以下、「興味のある内容の催し物がないから」（30.7%）、「自分の都合のよい日時に開催されていないから」（20.8%）、「仕事・育児・介護などで忙しく鑑賞に出かける気力がわかないから」（20.3%）が続く。



2 自分自身の参加・出演について

(1) 文化芸術活動を行うことへの興味・関心

文化芸術活動を行うことへの興味・関心を聞いたところ、「興味・関心がある」(49.0%)が約5割である。



(2) 文化芸術活動の継続的实施の有無

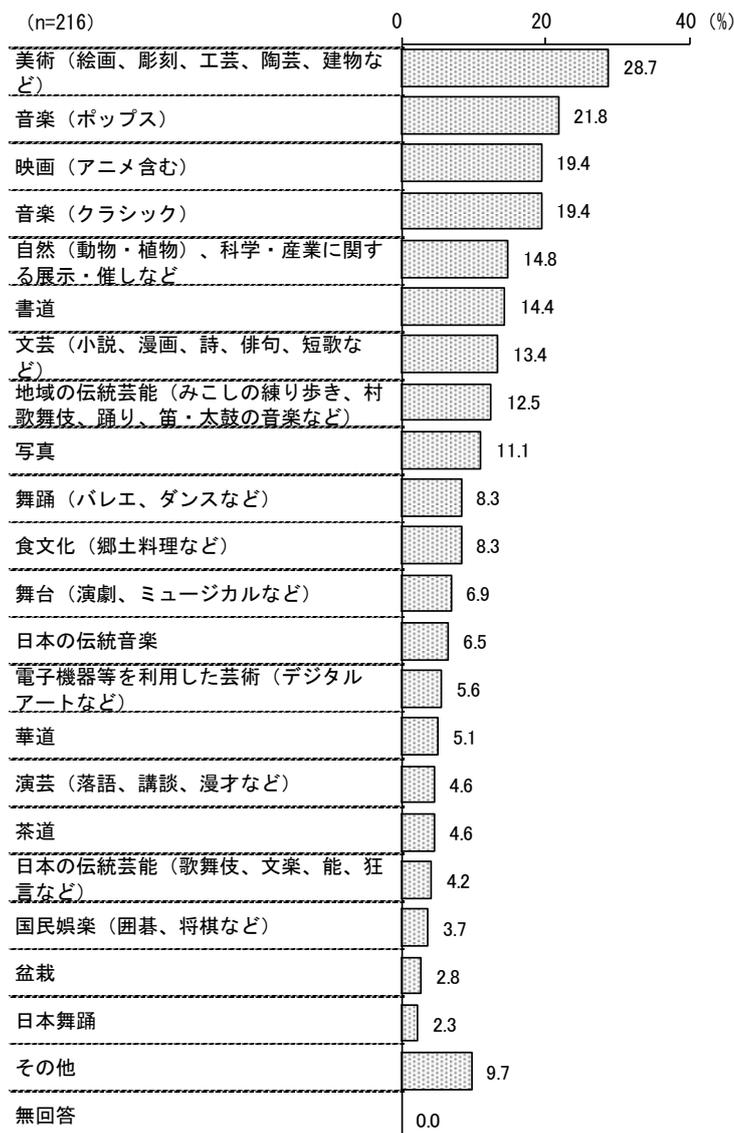
「文化芸術活動を行うことに『興味・関心がある』とした方」515人を対象に、継続的に何らかの文化芸術活動を行っているかを聞いたところ、「行っている」(41.9%)が4割を超えている。



(3) 継続的に実施しているジャンル

(複数回答: いくつでも)

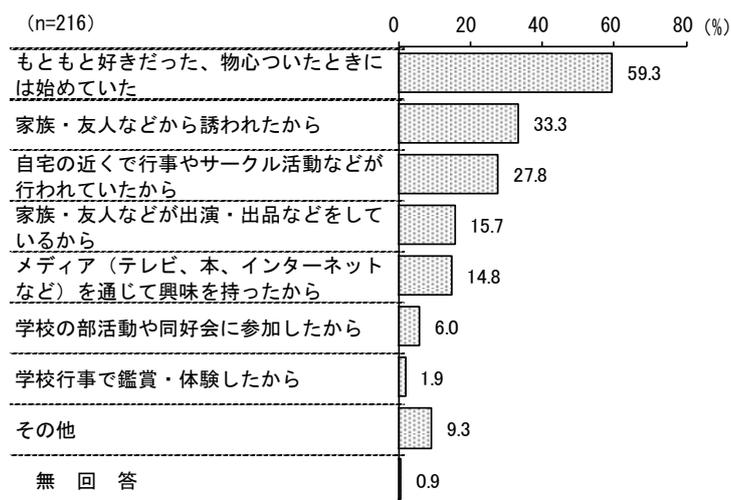
「文化芸術活動を継続的に実施しているとした方」216人を対象に、行っているジャンルを聞いたところ、「美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸、建物など)」(28.7%)が約3割で最も多い。以下、「音楽(ポップス)」(21.8%)、「映画(アニメ含む)」(19.4%)、「音楽(クラシック)」(19.4%)が続く。



(4) 文化芸術活動を始めた理由

(複数回答：いくつでも)

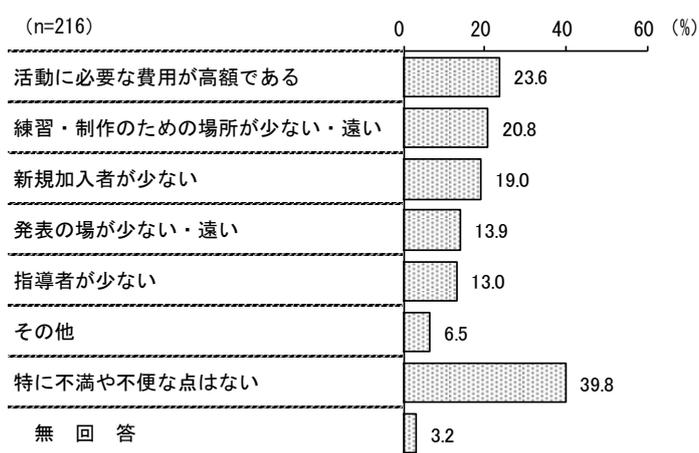
「文化芸術活動を継続的に実施しているとした方」216人を対象に、文化芸術活動を始めた理由を聞いたところ、「もともと好きだった、物心ついたときには始めていた」(59.3%)が約6割で最も多い。以下、「家族・友人などから誘われたから」(33.3%)、「自宅の近くで行事やサークル活動などが行われていたから」(27.8%)が続く。



(5) 文化芸術活動を行う際の不満や不便な点

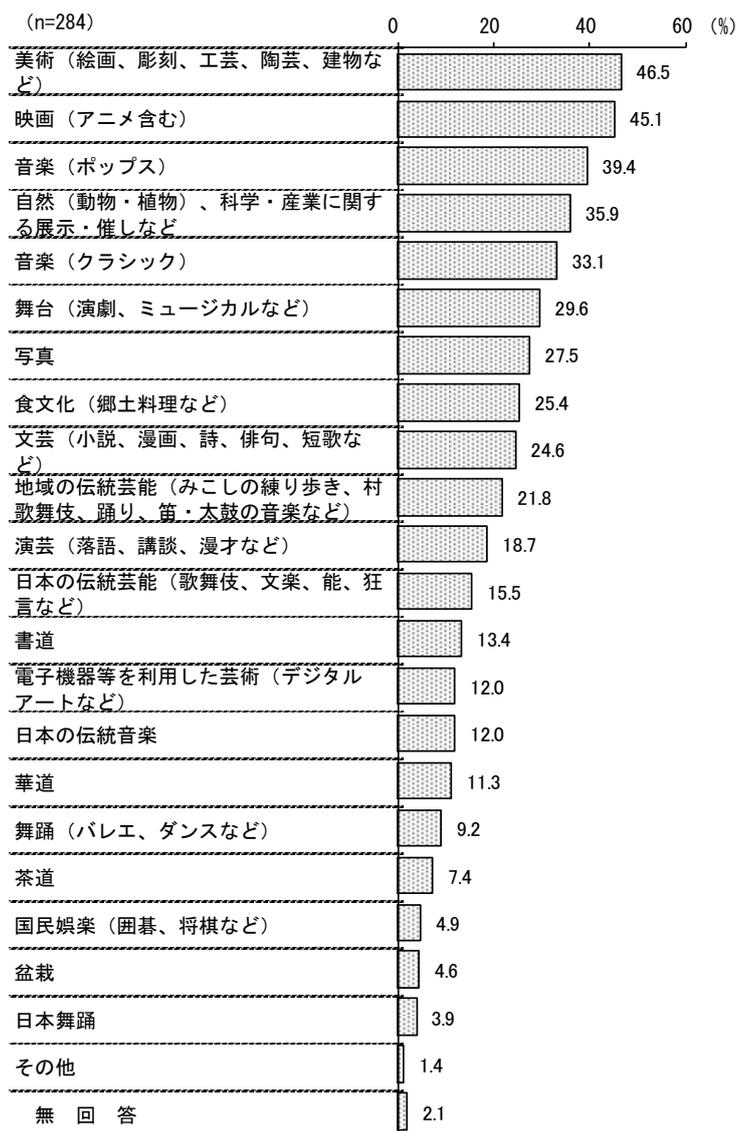
(複数回答：いくつでも)

「文化芸術活動を継続的に実施しているとした方」216人を対象に、文化芸術活動を行う際の不満や不便な点を聞いたところ、「活動に必要な費用が高額である」(23.6%)が2割台半ばで最も多い。以下、「練習・制作のための場所が少ない・遠い」(20.8%)、「新規加入者が少ない」(19.0%)が続く。一方で「特に不満や不便な点はない」(39.8%)が約4割となっている。



(6) 文化芸術活動を実施していない方の興味・関心があるジャンル（複数回答：いくつでも）

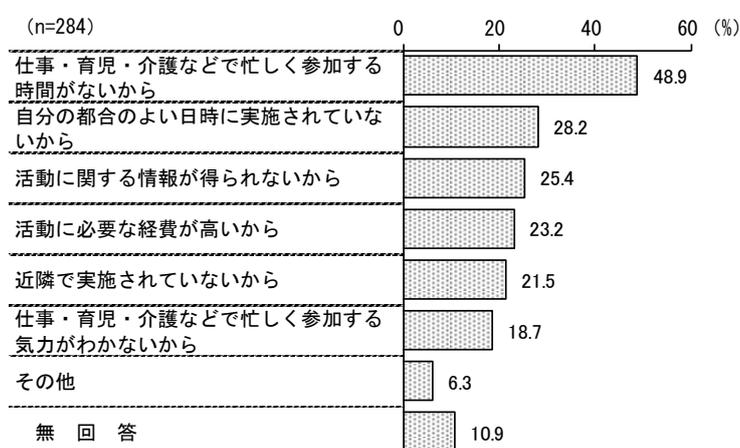
「文化芸術活動に興味・関心があるが継続的に実施していないとした方」284人を対象に、興味・関心があるジャンルを聞いたところ、「美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸、建物など）」（46.5%）が4割台半ばで最も多い。以下、「映画（アニメ含む）」（45.1%）、「音楽（ポップス）」（39.4%）、「自然（動物・植物）、科学・産業に関する展示・催しなど」（35.9%）が続く。



(7) 文化芸術活動を行っていない理由

（複数回答：3つまで）

「文化芸術活動に興味・関心があるが継続的に実施していないとした方」284人を対象に、行っていない理由を聞いたところ、「仕事・育児・介護などで忙しく参加する時間がないから」（48.9%）が約5割で最も多い。以下、「自分の都合のよい日時に実施されていないから」（28.2%）、「活動に関する情報が得られないから」（25.4%）、「活動に必要な経費が高いから」（23.2%）が続く。

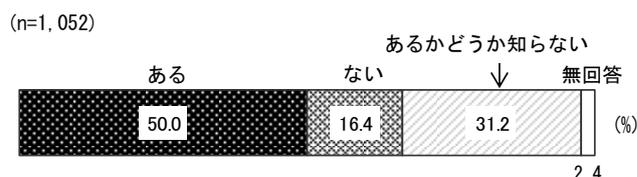


3 各地域における伝統芸能について

(1) 居住地における継承されている伝統芸能の有無

お住まいの地域で継承されている伝統芸能があるかを聞いたところ、「ある」(50.0%)が5割である。

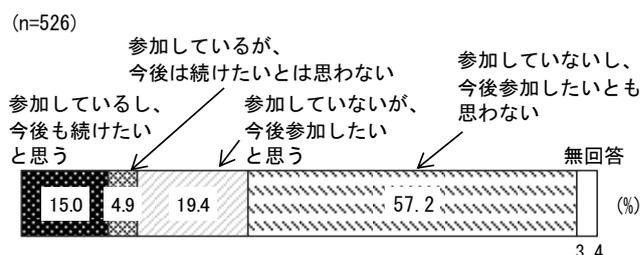
また、「あるかどうか知らない」(31.2%)が3割を超えている。



(2) 居住地における伝統芸能への参加有無及び今後の意向

「お住まいの地域で継承されている伝統芸能がある方」526人を対象に、担い手として参加の有無と今後の意向を聞いたところ、「参加していないし、今後参加したいとも思わない」(57.2%)が約6割と最も多い。

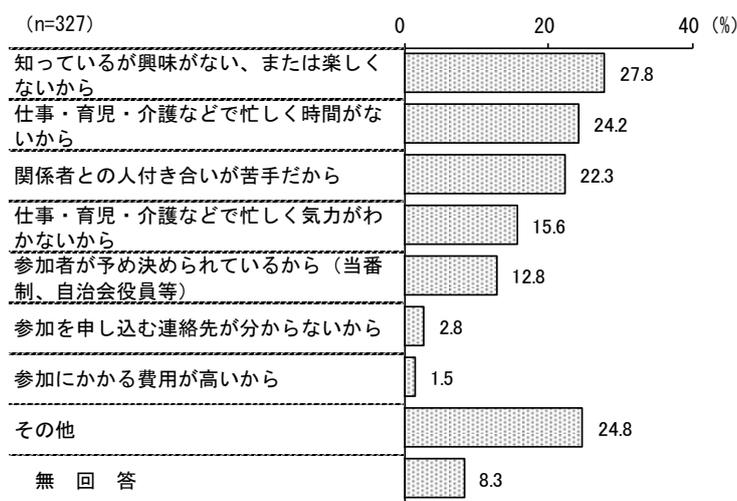
一方で、「参加しているし、今後も続けたいと思う」(15.0%)は1割台半ばである。



(3) 居住地における伝統芸能に今後参加したくない理由

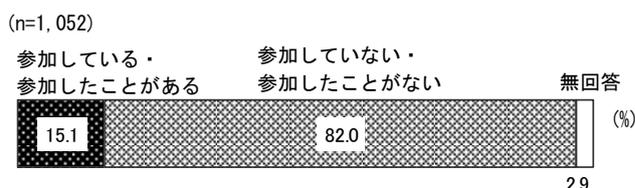
(複数回答：3つまで)

「お住まいの地域で継承された伝統芸能がある方で、担い手として『参加しているが今後は続けたいとは思わない』または『参加していないし、今後参加したいとも思わない』とした方」327人を対象に、その理由を聞いたところ、「知っているが興味がない、または楽しくないから」(27.8%)が約3割で最も多い。以下、「仕事・育児・介護などで忙しく時間がないから」(24.2%)、「関係者との人付き合いが苦手だから」(22.3%)が続く。



(4) 居住地以外での伝統芸能への参加有無

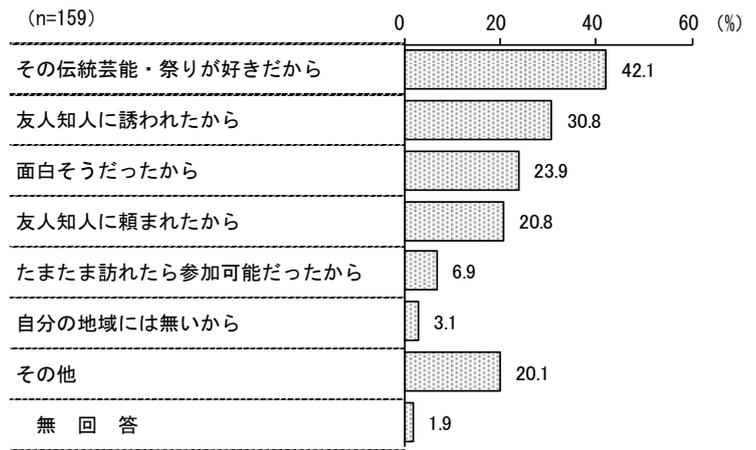
お住まいの地域以外で伝統芸能に担い手として参加経験があるかを聞いたところ、「参加している・参加したことがある」(15.1%)が1割台半ばである。



(5) 居住地以外での伝統芸能への参加理由

(複数回答：いくつでも)

「お住まいの地域以外で伝統芸能に担い手として参加経験があったとした方」159人を対象に、参加理由を聞いたところ、「その伝統芸能・祭りが好きだから」(42.1%)が4割を超えて最も多い。以下、「友人知人に誘われたから」(30.8%)、「面白そうだったから」(23.9%)が続く。

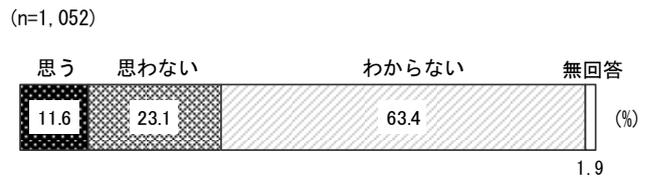


4 障害のある方の文化芸術活動について

(1) 障害の有無に関わらず文化芸術活動について鑑賞・参加できる機会について

障害の有無に関わらず文化芸術活動について鑑賞・参加できる機会が十分にあると思うかを聞いたところ、「思う」(11.6%)が1割を超えている。

一方で、「わからない」(63.4%)が6割台半ばである。

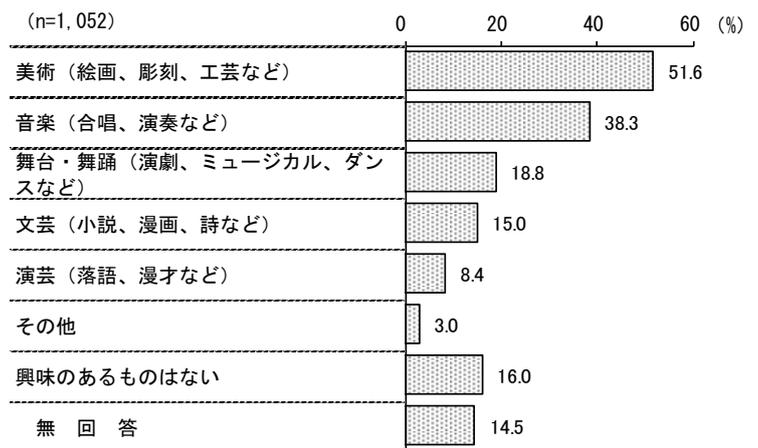


(2) 障害のある方の文化芸術活動で興味があるもの

(複数回答：いくつでも)

障害のある方の文化芸術活動で興味があるものを聞いたところ、「美術(絵画、彫刻、工芸など)」(51.6%)が5割を超えて最も多い。以下、「音楽(合唱、演奏など)」(38.3%)、「舞台・舞踊(演劇、ミュージカル、ダンスなど)」(18.8%)が続く。

また、「興味のあるものはない」(16.0%)が1割台半ばである。



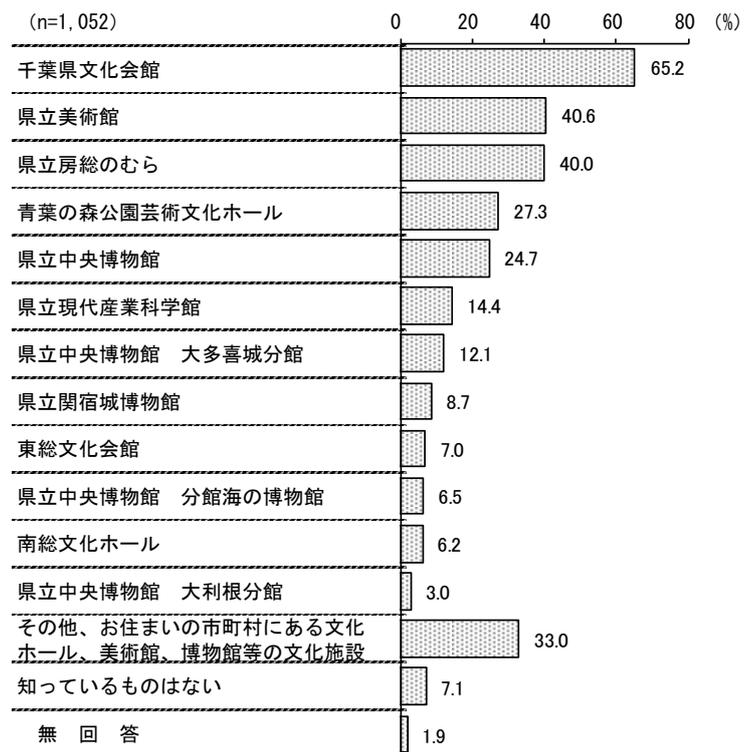
5 文化施設について

(1) 県内文化施設の認知

(複数回答：いくつでも)

千葉県内の文化施設で知っているものを聞いたところ、「千葉県文化会館」(65.2%)が6割台半ばで最も多い。以下、「県立美術館」(40.6%)、「県立房総のむら」(40.0%)が続く。

また、「知っているものはない」(7.1%)は約1割である。

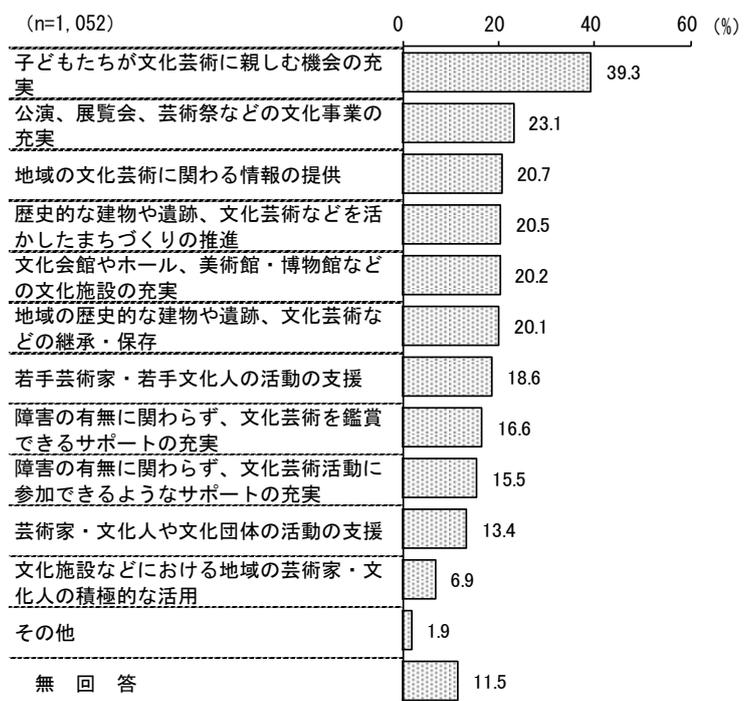


6 県が実施する事業等について

(1) 県が積極的に取り組むべき分野

(複数回答：3つまで)

千葉県が積極的に取り組むべき分野を聞いたところ、「子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実」(39.3%)が約4割で最も多い。以下、「公演、展覧会、芸術祭などの文化事業の充実」(23.1%)、「地域の文化芸術に関わる情報の提供」(20.7%)、「歴史的な建物や遺跡、文化芸術などを活かしたまちづくりの推進」(20.5%)、「文化会館やホール、美術館・博物館などの文化施設の充実」(20.2%)、「地域の歴史的な建物や遺跡、文化芸術などの継承・保存」(20.1%)が続く。

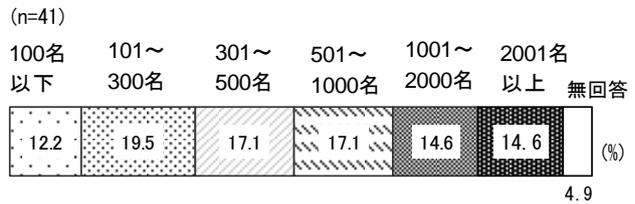


5-2 調査の結果（関連団体向け）

1 会員（加入者）の状況について

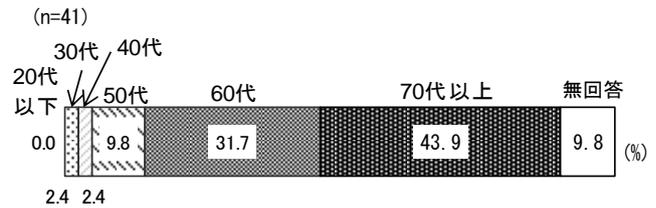
(1) 会員（加入者）数

会員（加入者）数は、「101～300名」（19.5%）が約2割で最も多い。以下「301～500名」と「501～1000名」が共に17.1%で続く。



(2) 現会員（加入者）の平均年齢

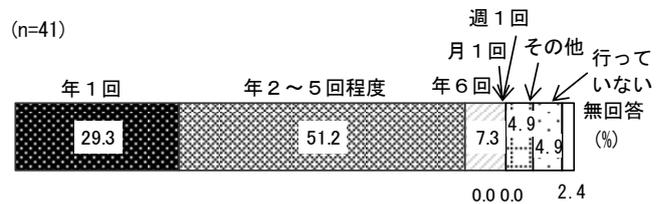
現会員（加入者）の平均年齢は、「70代以上」（43.9%）が4割台半ばで最も多い。また「60代」を含めた「60代以上」（75.6%）は7割台半ばを占める。



2 活動状況について

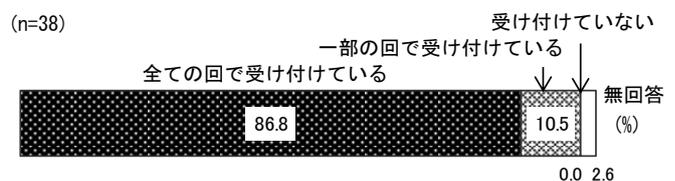
(1) 成果の発表会や展示会等の実施頻度

成果の発表会や展示会等の実施頻度は、「年2～5回程度」（51.2%）が5割を超えて最も多い。以下、「年1回」（29.3%）が約3割と続く。



(2) 会員以外の方の参加（観覧、聴講）の受付有無

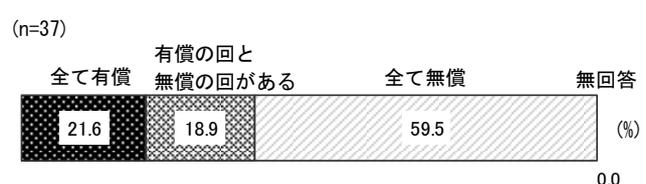
「成果の発表会や展示会等を実施している団体」38団体を対象に、会員以外の方の参加（観覧、聴講）の受付有無を聞いたところ、「全ての回で受け付けている」（86.8%）が8割台半ばである。



(3) 会員以外の方の参加（観覧、聴講）費用

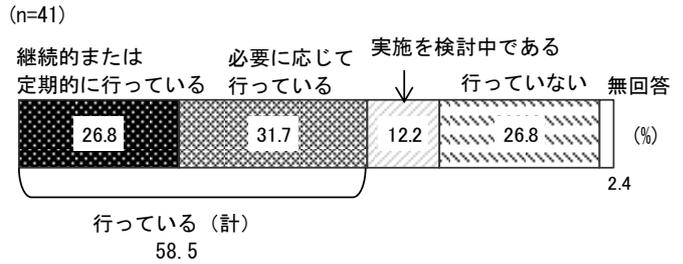
「成果の発表会や展示会等に会員以外の方の参加（観覧、聴講）の受けている団体」37団体を対象に、有償か無償かを聞いたところ、「全て無償」（59.5%）が約6割である。

また、「全て有償」（21.6%）と「有償の回と無償の回がある」（18.9%）が共に約2割である。



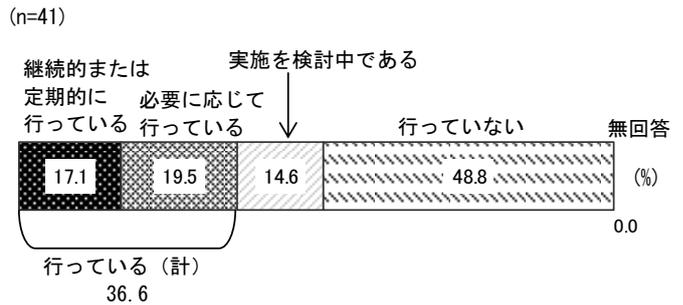
(4) 後継者育成のための事業や活動の有無

後継者育成のための事業や活動の有無を聞いたところ、「継続的または定期的に行っている」(26.8%)と「必要に応じて行っている」(31.7%)を合わせた「行っている(計)」(58.5%)が約6割である。



(5) 他ジャンルの芸術文化団体との交流(コラボレーションを含む)の有無

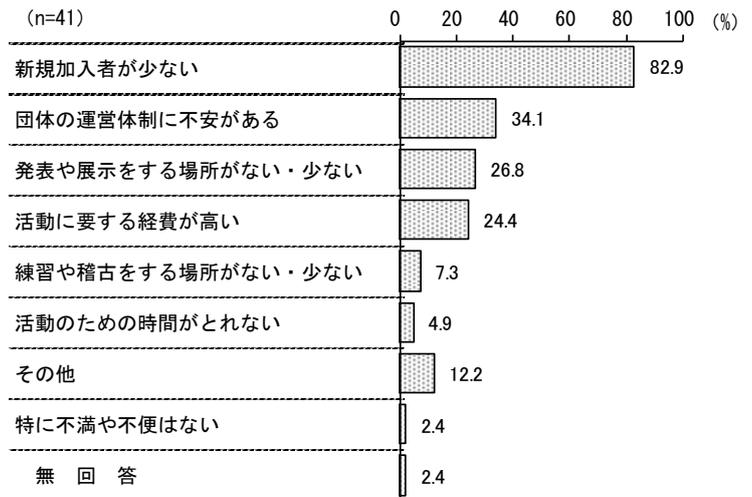
他ジャンルの芸術文化団体との交流(コラボレーションを含む)の有無を聞いたところ、「継続的または定期的に行っている」(17.1%)と「必要に応じて行っている」(19.5%)を合わせた「行っている(計)」(36.6%)が3割台半ばである。



(6) 活動に関する不満や不便な点

(複数回答: 3つまで)

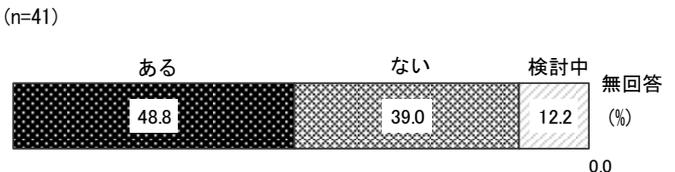
活動に関する不満や不便な点を聞いたところ、「新規加入者が少ない」(82.9%)が8割を超えて最も多い。以下、「団体の運営体制に不安がある」(34.1%)、「発表や展示をする場所がない・少ない」(26.8%)、「活動に要する経費が高い」(24.4%)が続く。



3 障害のある方への配慮について

(1) 障害のある方が行きやすい工夫の有無

障害のある方が行きやすい工夫の有無を聞いたところ、「ある」(48.8%)が約5割である。



(2) 障害のある方の参加希望の有無

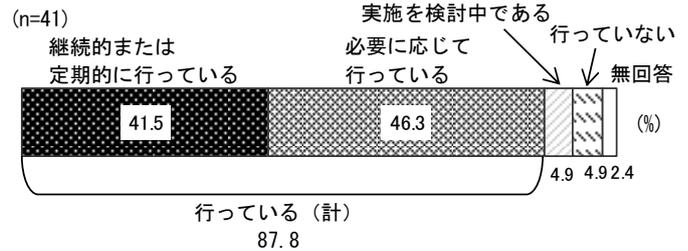
障害のある方に参加してもらいたいかを聞いたところ、「思う」(95.1%)が9割台半ばである。



4 PR活動について

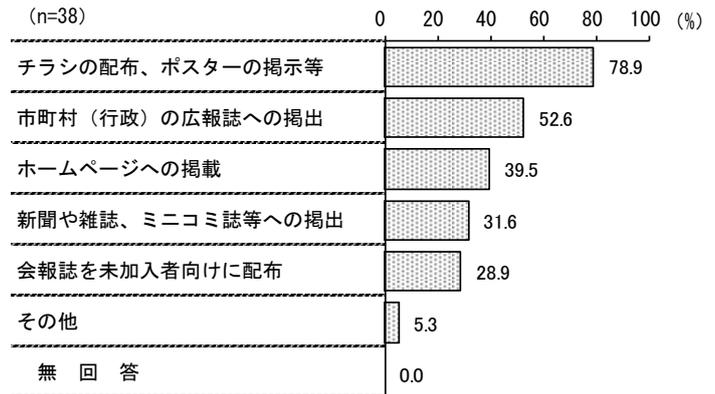
(1) 未活動者や未加入者向けのPR活動の実施状況

未活動者や未加入者向けのPR活動の実施状況を聞いたところ、「継続的または定期的に行っている」(41.5%)と「必要に応じて行っている」(46.3%)を合わせた「行っている(計)」(87.8%)が約9割である。



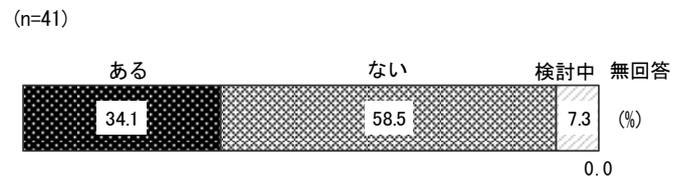
(2) PR活動の方法

「PR活動を行っているとした」38団体を対象に、活動方法を聞いたところ、「チラシの配布、ポスターの掲示等」(78.9%)が約8割と最も多い。以下「市町村(行政)の広報誌への掲出」(52.6%)、「ホームページへの掲載」(39.5%)と続く。



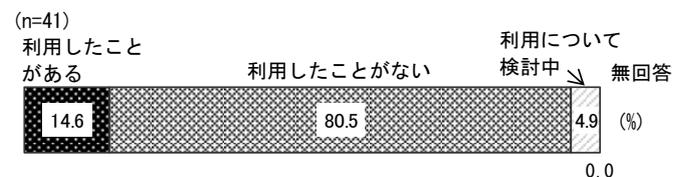
(3) 専用ホームページの有無

団体専用のホームページの有無を聞いたところ、「ある」(34.1%)が3割台半ばである。



(4) 「ちば文化交流ボックス」の利用経験

「ちば文化交流ボックス」の利用経験を聞いたところ、「利用したことがある」(14.6%)が1割台半ばである。

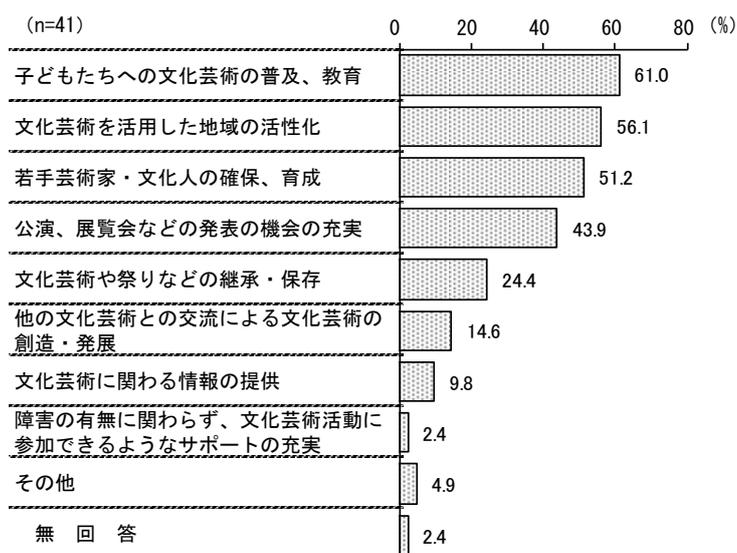


5 団体が今後担っていききたい役割について

(1) 団体が今後担っていききたい役割

(複数回答: 3つまで)

団体が今後担っていききたい役割を聞いたところ、「子どもたちへの文化芸術の普及、教育」(61.0%)が6割を超えて最も多い。以下、「文化芸術を活用した地域の活性化」(56.1%)、「若手芸術家・文化人の確保、育成」(51.2%)、「公演、展覧会などの発表の機会の充実」(43.9%)が続く。



6 県が実施する事業等について

(1) 振興のために県が担う役割

(複数回答: 3つまで)

振興のために千葉県が担う役割を聞いたところ、「子どもたちが文化芸術に親しむ機会の充実」(51.2%)が5割を超えて最も多い。以下、「文化会館やホール、美術館・博物館などの文化施設の充実」(46.3%)、「芸術家・文化人や文化団体の活動の支援」(41.5%)、「若手芸術家・文化人の活動の支援」(29.3%)、「公演、展覧会、芸術祭などの文化芸術事業の充実」(26.8%)が続く。

